

1. 説明文

(1) この図は、豊見城市において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による雨水出水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この図は、令和 6 年度末時点での下水道などの整備状況を勘案し、浸水リスクが高いとされる流域を対象として想定最大規模降雨(1 時間雨量153mm)による内水氾濫が発生した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

(3) この図において水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の計画区域のうち浸水が想定される区域(着色部)を示しています。

(4) シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、外水(河川)等を考慮しておりませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体: 豊見城市

(2) 指定年月日: 令和 8 年 3 月

(3) 指定の根拠法令: 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項

(4) 指定の前提となる降雨: 想定最大規模降雨(1時間雨量153mm)

(5) 浸水想定手法: 浸水シミュレーション手法[降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析]を一連で実施。

(6) 対象範囲: 下水道計画区域内(根差部雨水幹線、上田雨水幹線流域)

3. 備 考

長時間にわたり浸水する恐れがある場合(浸水深50cm以上が概ね24時間以上継続する場合)に該当しないため、本図では浸水継続時間は表示していません。

シミュレーションは市内の一部流域を選定して実施したものであり、浸水が表示されていない区域において浸水が発生する場合があります。また状況により想定される水深が実際と異なる場合があります。

